



2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月2日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 井上 伸雄 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	133,141	3.8	5,105	△15.3	5,286	△17.5	2,556	△27.0
2019年11月期第1四半期	128,319	△6.5	6,026	5.3	6,408	6.5	3,500	7.8

(注) 包括利益 2020年11月期第1四半期 2,880百万円 (7.1%) 2019年11月期第1四半期 2,689百万円 (△31.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	17.87	—
2019年11月期第1四半期	24.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	438,135	275,594	53.4
2019年11月期	444,309	276,753	53.0

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 234,178百万円 2019年11月期 235,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年11月期の期末配当金につきましては、創業100周年記念配当5円を含んでいます。

3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	540,000	△1.0	30,000	△6.4	30,500	△8.3	12,000	△35.8	83.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 1 Q	150,000,000株	2019年11月期	150,000,000株
② 期末自己株式数	2020年11月期 1 Q	6,958,160株	2019年11月期	6,958,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 1 Q	143,041,867株	2019年11月期 1 Q	143,042,984株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

当社グループは、食で多くの方々に笑顔をお届けできる存在でありたいという想いのもと、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献すると同時に社会的な課題に取り組み、広く共感されるグループをめざします。

2019-2021年度 中期経営計画においては、国内では主力の3事業に集中しそれぞれの事業が持つ強い販路を活用したグループ展開を進め、海外では中国・東南アジアにおいて、調味料を中心に成長を加速していきます。また、環境変化に対応した経営基盤の強化を推進することで企業価値の向上に努めています。

・売上高

物流事業および食品メーカー向け製造機械の販売における受注の増加に加え国内・海外における家庭用マヨネーズとドレッシングが好調に推移し、1,331億41百万円と前年同期に比べ48億22百万円（3.8%）の増収となりました。

・利益

サラダ・惣菜事業が伸張しましたが、鶏卵および食油など主原料価格の上昇や売上増加に伴う物流コストの増加により、営業利益は51億5百万円と前年同期に比べ△9億21百万円（△15.3%）、経常利益は52億86百万円と前年同期に比べ△11億22百万円（△17.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億56百万円と前年同期に比べ△9億44百万円（△27.0%）の減益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	増減 (金額)	増減 (比率)
調理・調味料	43,137	43,951	814	1.9%
サラダ・惣菜	21,421	21,833	412	1.9%
タマゴ	23,421	24,301	880	3.8%
フルーツソリューション	3,494	3,642	148	4.2%
ファインケミカル	2,044	1,710	△334	△16.3%
物流	33,610	35,131	1,521	4.5%
共通	1,189	2,569	1,380	116.1%
合計	128,319	133,141	4,822	3.8%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	増減 (金額)	増減 (比率)
調理・調味料	4,247	4,064	△183	△4.3%
サラダ・惣菜	210	583	373	177.6%
タマゴ	1,993	1,120	△873	△43.8%
フルーツソリューション	△41	△59	△18	—
ファインケミカル	△21	△8	13	—
物流	745	661	△84	△11.3%
共通	393	334	△59	△15.0%
全社費用	△1,500	△1,589	△89	—
合計	6,026	5,105	△921	△15.3%

調理・調味料

- ・国内および海外の家庭用マヨネーズ・ドレッシングの伸張により増収
- ・主原料価格の上昇や業務用商品の不振により減益

サラダ・惣菜

- ・主力の練りサラダおよび日持ちを延長したカット野菜の販売増加や販路開拓により増収
- ・主力商品の売上増加や生産性の向上により増益

タマゴ

- ・鶏卵相場上昇の影響や国内の販売数量増加により増収
- ・付加価値品の不振影響や米国の乾燥卵相場下落の影響により減益

フルーツ ソリューション

- ・ジャム・スプレッドの伸張により増収
- ・食品メーカー向け商品の生産性向上の遅れなどにより減益

ファインケミカル

- ・ヒアルロン酸の販売不振により減収
- ・サプリメントの販売における収益性の改善により増益

物流

- ・共同物流などの既存顧客の取扱い拡大が進み増収
- ・事業拡大や体制強化に伴う人件費などの増加により減益

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売増加により増収
- ・新規施設賃貸の遅れにより減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,381億35百万円と前連結会計年度末に比べ61億74百万円減少
主に受取手形及び売掛金、投資有価証券の減少による
- ・負債は、1,625億41百万円と前連結会計年度末に比べ50億15百万円減少
主に支払手形及び買掛金、流動負債のその他に含まれる未払金の減少による
- ・純資産は、2,755億94百万円と前連結会計年度末に比べ11億59百万円減少
主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金の減少による

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2020年1月9日に公表しました2020年11月期の連結業績予想は、本日（2020年4月2日）発表のとおり修正を行っています。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「2020年11月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。セグメント別の修正計画については、「2020年11月期 第1四半期決算補足説明資料」1ページに記載しています。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,777	44,845
受取手形及び売掛金	83,651	77,734
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	17,392	17,902
仕掛品	2,354	1,641
原材料及び貯蔵品	9,089	9,830
その他	5,951	5,085
貸倒引当金	△426	△412
流動資産合計	174,790	166,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	183,036	191,402
減価償却累計額	△108,069	△109,164
建物及び構築物（純額）	74,966	82,238
機械装置及び運搬具	179,442	177,868
減価償却累計額	△123,953	△121,883
機械装置及び運搬具（純額）	55,488	55,984
土地	52,178	52,211
建設仮勘定	15,268	8,429
その他	26,184	28,370
減価償却累計額	△16,627	△16,936
その他（純額）	9,557	11,433
有形固定資産合計	207,459	210,298
無形固定資産		
のれん	989	935
その他	8,931	9,270
無形固定資産合計	9,921	10,205
投資その他の資産		
投資有価証券	27,225	25,176
退職給付に係る資産	9,898	10,228
その他	15,192	15,780
貸倒引当金	△177	△181
投資その他の資産合計	52,138	51,003
固定資産合計	269,519	271,507
資産合計	444,309	438,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,299	50,039
短期借入金	7,322	9,678
未払法人税等	4,208	2,043
引当金	3,146	5,301
その他	31,029	26,020
流動負債合計	99,006	93,083
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	42,616	42,513
退職給付に係る負債	3,306	3,317
資産除去債務	1,187	1,188
その他	11,440	12,438
固定負債合計	68,550	69,457
負債合計	167,556	162,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,483	29,483
利益剰余金	196,551	195,487
自己株式	△15,862	△15,862
株主資本合計	234,276	233,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,045	7,665
繰延ヘッジ損益	6	1
為替換算調整勘定	△3,241	△2,505
退職給付に係る調整累計額	△4,534	△4,196
その他の包括利益累計額合計	1,275	965
非支配株主持分	41,201	41,415
純資産合計	276,753	275,594
負債純資産合計	444,309	438,135

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
売上高	128,319	133,141
売上原価	97,956	102,985
売上総利益	30,363	30,155
販売費及び一般管理費	24,336	25,049
営業利益	6,026	5,105
営業外収益		
受取利息	18	43
受取配当金	191	187
持分法による投資利益	39	52
受取保険金	220	101
その他	184	154
営業外収益合計	654	539
営業外費用		
支払利息	80	90
未稼働設備関連費用	8	105
その他	184	162
営業外費用合計	272	359
経常利益	6,408	5,286
特別利益		
固定資産売却益	5	9
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	5	11
特別損失		
固定資産除却損	223	350
退職給付制度終了損	—	168
減損損失	92	49
その他	16	57
特別損失合計	331	627
税金等調整前四半期純利益	6,082	4,670
法人税等	2,028	1,621
四半期純利益	4,054	3,049
非支配株主に帰属する四半期純利益	553	492
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,500	2,556

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年2月28日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）
四半期純利益	4,054	3,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△944	△1,475
繰延ヘッジ損益	25	△4
為替換算調整勘定	△733	948
退職給付に係る調整額	288	361
その他の包括利益合計	△1,364	△168
四半期包括利益	2,689	2,880
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,273	2,246
非支配株主に係る四半期包括利益	415	633

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

IFRSを適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上しています。本会計基準の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しています。

なお、本会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年12月1日 至 2019年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	43,137	21,421	23,421	3,494	2,044	33,610	1,189	128,319	—	128,319
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,510	28	1,067	236	98	7,419	2,498	12,858	△12,858	—
計	44,648	21,449	24,488	3,731	2,142	41,029	3,687	141,178	△12,858	128,319
セグメント利益 又は損失(△)	4,247	210	1,993	△41	△21	745	393	7,527	△1,500	6,026

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,500百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2019年12月1日至2020年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	43,951	21,833	24,301	3,642	1,710	35,131	2,569	133,141	—	133,141
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,512	36	767	216	104	7,661	2,475	12,774	△12,774	—
計	45,463	21,870	25,069	3,858	1,814	42,793	5,044	145,915	△12,774	133,141
セグメント利益 又は損失（△）	4,064	583	1,120	△59	△8	661	334	6,695	△1,589	5,105

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,589百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。